



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



**町が指定した避難場所へ  
立退き避難**

※次善策として、車中避難も検討してみましょう。

自ら携行するもの

- ・マスク
- ・消毒液
- ・体温計
- ・スリッパ 等



**安全な親戚・知人宅  
への立退き避難**

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

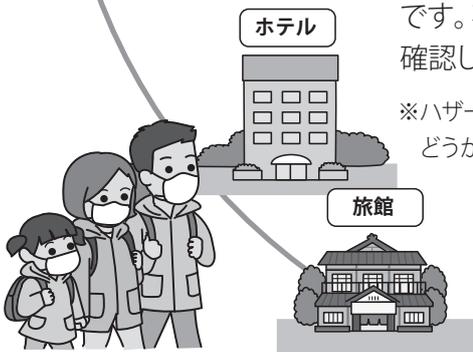


**普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう**

**安全なホテル・旅館  
への立退き避難**

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



**屋内安全確保**

ハザードマップで下記の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

■■■■ 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



**「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です**

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります



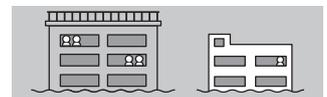
地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)は下記までお問い合わせください。

◎問い合わせ先 (避難情報に関すること) 住民環境課生活安全係 ☎82-3111 (内線 124) 直通 75-6204  
(ハザードマップに関すること) 建設課建設係 ☎82-3111 (内線 172) 直通 75-6208